

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 899

2024年 2月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

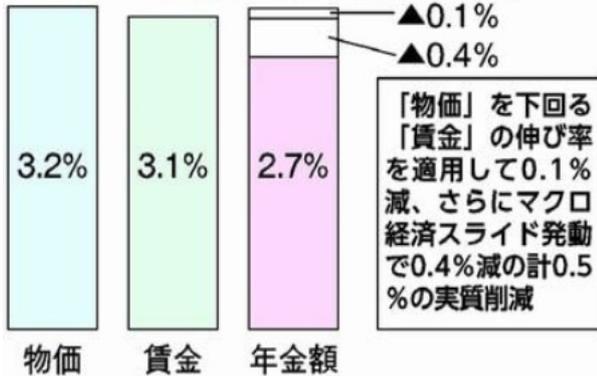
mail: jcpsagamiko@gmail.com

年金 物価下回る2・7%増

厚生労働省は1月19日、2024年度の公的年金額について、物価上昇率より0・5%下回る2・7%増にとどめ、実質削減する方針を明らかにしました。物価よりも低い賃金の伸び率で改定し、さらに削る「マクロ経済スライド」を、2年連続で発動するためです。

自公政権は2012年の政権復帰

2024年度公的年金額の改定率



マクロ経済スライドで実質削減

後、年金額の伸びを抑制・削減する仕組みを強化し、実質削減を繰り返してきました。今回の削減を許せば、安倍・菅・岸田3政権の12年間（13〜24年度）に、物価は1割も上がったのに、年金額は3%程度の伸びに抑えられ、実質では、7・5〜7・8%の目減りとなります。

年金額は、直近1年間の「物価」と過去3年度分の「賃金」の変動率をもとに毎年度改定されます。

24年度改定の指標となる変動率は、23年の「物価」が3・2%増で、20〜22年度の「賃金」が3・1%増でした。

岸田政権は、年金額の引き上げを抑制するため、まず、「賃金」が「物価」を下回った場合は、低い方の「賃金」の変動率を年金額の改定率に用いるとのルールを適用。そのうえで、「マクロ経済スライド」を2年連続で発動し、「賃金」の変動

率3・1%増から、さらに0・4%を差し引き、最終の改定率を2・7%増にとどめようとしています。

マクロ経済スライド

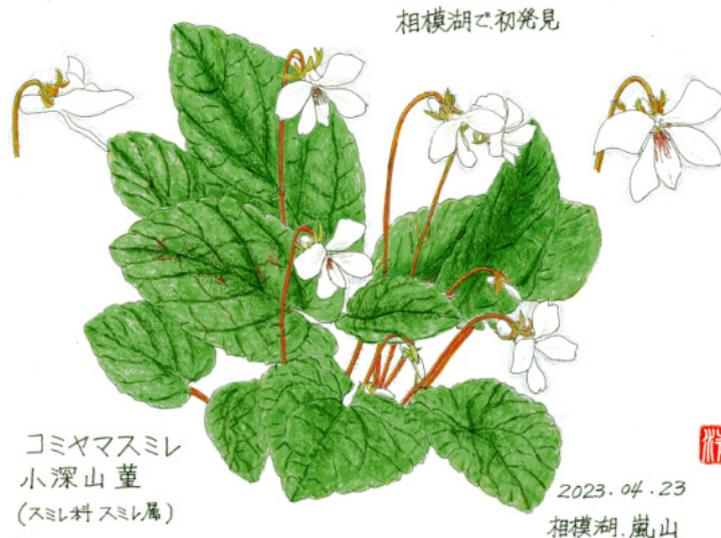
「将来世代の年金の給付水準を確保するため」として、年金額の改定率を物価や賃金の伸び率よりも低く抑えて、目減りさせる仕組み。日本共産党は「減らない年金」にするために、この仕組みを廃止したうえで、年金財源の確保のため(1)高所得者優遇の保険料制度の見直し(2)巨額の年金積立金の計画的利用(3)賃上げと正社員化による保険料収入の増額と加入者拡大を提案しています。

能登半島地震災害救援募金

ご協力ありがとうございます

新年早々、能登半島は甚大な災害に見舞われました。全国で救援募金を取り組まれています。共産党相模湖支部でも相模湖駅頭で救援募金の訴えや、「しんぶん赤旗」の読者の方々に募金へのご協力をお願いしてきました。

2月1日現在、募金額は4万1556円になっています。ご協力いただいた募金は党のルートを通して、被災地の関係機関にお届けします。



管内でも初めて?) コミヤマスマミレだと解りました。

コミヤマスマミレ(小深山堇)

スマミレ科スマミレ属

昨年(2023)の春、嵐山の日影の沢の所に生えていたスマミレが相模湖で初めて確認した(津久井

尾山の沢ぞいの登山道(6号路)で見られる所が知られませんでした。数日後、高尾山へ見に行った時の写真と見比べて解りました。

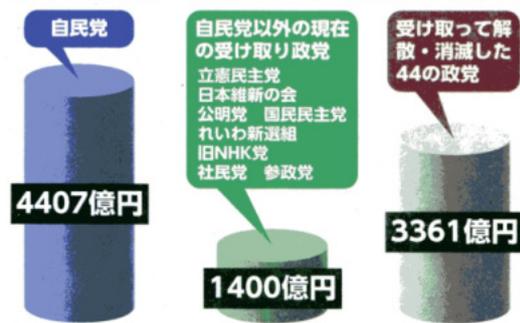
花の咲く時期は、スマミレの仲間では遅い方で、4月下旬から5月初旬のゴールデンウィークの頃で、白く小さめの花を咲かせます。葉は根元から数枚出て卵形で、茶色がかった緑色をしています。

高尾山では、花観察の人も多く訪れますので、写真を撮っていると何人もの人が足を止め、花談議に文字通り花が咲きました。

嵐山のコミヤマスマミレは数株しかないので大切にしましょう。

「政治改革」から30年 腐敗噴出 いま見直す時

29年間(1995年~2023年)の政党助成金の山分け額



「しんぶん赤旗」より転載

1980年代から90年代にかけて、リクルート事件やゼネコン汚職など、政財界ぐるみの金券腐敗事件が発覚し、「政治改革」が唱えられ、政党助成金をつくることと引き換えに企業・団体献金を禁止することが合意されました。ところがこの約束は反故(ほご)にされ、自民党は毎年、百数十億円もの政党助成金を手にしながら、企業・団体献金ももらい続けるという「二重取り」を続けています。自民党派閥による政治資金パーティ収入の不記載・裏金づくりの根本に、反故にされた30年前の「政治改革」が深くかかわっています。